

# 数字で見る大阪経済のツボ

大阪シティ総合研究所の専属スタッフが  
 さまざまな経済指標にスポットをあて、  
 大阪経済の現状を分かりやすく解説します。

2024年5月

## 大阪府の人口移動について

### <全国の情勢>

総務省による2023年の住民基本台帳人口移動報告（外国人を含む）によると、都道府県別の転入者数は東京都（45万4,133人）が最も多く、次いで神奈川県、埼玉県、大阪府、千葉県の順となっています。一方、同転出者数も東京都（38万5,848人）が最も多く、以下、神奈川県、大阪府、埼玉県、千葉県の順で多くなっています。

また、都道府県別で転入超過となったのは、最も多い東京都（6万8,285人）のほか、神奈川県、埼玉県、大阪府、千葉県、福岡県および滋賀県の7都府県のみです。

大阪府の転入超過数は10,792人と前年に比べ4,253人拡大しました。前年に比べ転入超過数が拡大したのは東京都、神奈川県、大阪府の3都府県でした。

一方、転入超過数が最も減少したのは千葉県（▲3,783人減）となっています。

\*住民基本台帳人口移動報告は、住民基本台帳に基づき、国内における人口移動の状況を明らかにするものです。

都道府県別転入者数、転出者数等 上位10都府県（2023年） (人)

都府県名	2023年					2022年 転入超過数 ③	対前年 増減数 ①-②-③
	転入者数		転出者数		転入超過数 ①-②		
	順位	①	順位	②			
東京都	1	454,133	1	385,848	68,285	38,023	30,262
神奈川県	2	236,543	2	207,937	28,606	27,564	1,042
埼玉県	3	189,756	4	164,917	24,839	25,364	▲525
大阪府	4	177,874	3	167,082	10,792	6,539	4,253
千葉県	5	161,274	5	156,489	4,785	8,568	▲3,783
愛知県	6	123,979	6	131,387	▲7,408	▲7,910	502
福岡県	7	105,094	7	100,707	4,387	4,869	▲482
兵庫県	8	92,924	8	100,321	▲7,397	▲5,625	▲1,772
京都府	9	59,452	10	62,087	▲2,635	▲2,034	▲601
静岡県	10	58,742	9	64,896	▲6,154	▲4,658	▲1,496

(注)転入超過数の「▲」は転出超過を表す。

全国の市町村別では、東京特別区部が5万3,899人の転入超過で、昨年に続き全国最多となりました。東京圏の転入超過はコロナ前の2019年の水準に近づいており、東京への人口の一極集中が再び強まっていることがうかがえます。大阪市は12,966人で全国1,719自治体（東京特別区は1とする）中2番目に多く、10年連続で転入超過を維持しました。

転入超過数の多い 全国上位10市町村（2023年）（人）

順位		市町村	2023年	2022年	対前年増減数
1	(1)	東京都特別区部（東京都）	53,899	21,420	32,479
2	(3)	大阪市（大阪府）	12,966	9,103	3,863
3	(5)	横浜市（神奈川県）	9,731	8,426	1,305
4	(4)	札幌市（北海道）	8,933	8,913	20
5	(6)	福岡市（福岡県）	8,911	6,031	2,880
6	(2)	さいたま市（埼玉県）	7,631	9,282	▲1,651
7	(17)	川崎市（神奈川県）	5,475	2,209	3,266
8	(8)	千葉市（千葉県）	5,088	3,519	1,569
9	(26)	茅ヶ崎市（神奈川県）	2,520	1,560	960
10	(25)	平塚市（神奈川県）	2,499	1,567	932

（注）（ ）内の数字は2022年の順位

### ＜大阪の情勢＞

大阪府の転入超過数は前年に比べ4,253人増加の1万792人、大阪市は同じく3,863人増えて1万2,966人となりました。

大阪府および大阪市の転入者数、転出者数および転入超過数の推移（人）

	大阪府			大阪市		
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数
2017年	164,025	162,889	1,136	107,723	98,270	9,453
2018年	168,551	166,163	2,388	112,137	100,056	12,081
2019年	175,702	167,638	8,064	116,972	103,210	13,762
2020年	172,563	159,207	13,356	118,461	101,659	16,802
2021年	168,009	162,387	5,622	114,060	106,167	7,893
2022年	173,710	167,171	6,539	117,545	108,442	9,103
2023年	177,874	167,082	10,792	120,887	107,921	12,966
男	95,164	92,251	2,913	63,820	58,034	5,786
女	82,710	74,831	7,879	57,067	49,887	7,180
日本人	159,522	146,451	13,071	107,471	92,686	14,785
外国人	18,352	20,631	▲2,279	13,416	15,235	▲1,819

（注）転入超過数の「▲」は転出超過を表す。

大阪府の市町村別では、転入超過が18市町で、転出超過が25市町村となりました。大阪市（1万2,966人）、茨木市（1,276人）、吹田市（1,043人）、箕面市（541人）の順で転入超過数が多くなる一方、岬町（▲1,413人）、泉南市（▲1,214人）、貝塚市（▲624人）、堺市（▲527人）の順で転出超過数が多くなっています。

大阪府の市町村別 転入・転出超過 上位10市町村 (人)

転入超過			転出超過		
順位	市町村名	実数	順位	市町村名	実数
1	大阪市	12,966	1	岬町	▲1,413
2	茨木市	1,276	2	泉南市	▲1,214
3	吹田市	1,043	3	貝塚市	▲624
4	箕面市	541	4	堺市	▲527
5	東大阪市	522	5	富田林市	▲516
6	松原市	457	6	藤井寺市	▲392
7	交野市	299	7	河内長野市	▲365
8	八尾市	230	8	阪南市	▲364
9	高槻市	218	9	大東市	▲324
10	島本町	173	10	高石市	▲297

(注) 「▲」は転出超過を表す。

以 上